

参考人招致を拒否

仲領委員長は23日、取材に「日程調整の対応を協議したい」と上、委員会を開催して話した。

あす郷土芸能の夕べを開催

市民会館中ホール

「郷土芸能の夕べ」

第321回公演が、25日午後8時から市民会

館中ホールで催される。

今回は、正調正風会

赤山正子民俗舞踊練場

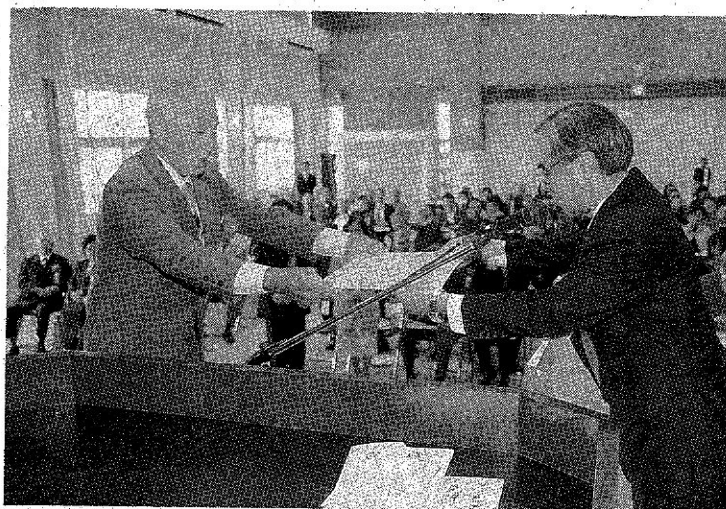
による「黒島口説」久

高節」など9演目、地

謡は八重山古典音楽安

室流保存会の新盛勝

21個人と14団体法人が表彰された第11回石垣市社会福祉大会は23日午後、市健康福祉センター



会長に一村会福祉の分野は多岐にわたり、福祉問題は実に多種多様。人と地域のつながりを大切にしたい共に支えあう社会づくりはボランティア、福祉関係者の共通理解と連携が欠かせない。これからも身近な問題にきめ細かい対応と対策に努めていきたい」と式辞を述べ、中山義隆市長代読があいさつした。

表彰状と感謝状が贈呈され、受賞者代表として瀬名波昇さんが「福祉の基本は助け合い。受賞者は其助の心でより一層精進していきたい。表彰に感謝したい」と礼を述べ、伊良皆高信市議会議長、新垣雄久県社会福祉協議会会長がそれぞれ祝辞を送った。

最後は、大会宣言を

一、岡山創、美差辰雄、坂田和広研究所のメンバーが担当する。

入場料500円。主催者では、観光客や市民多数の来場を呼びかけている。

記念講演を行った。受賞者は次の通り。▽特別功労賞「瀬名波昇、浦原英

大川公民館

石垣在波照間郷友会(内原敷会長)の新成

る。酒肴携帯。向会では多くの郷友の参加を呼びかけている。

つひなま
午23日



を前に
園(吉
44人)
園遊戯
お茶会
お茶

生産者の思いを伝えて

石垣牛ブランド強化に向け

J A おきなわ

J A 石垣牛肥育部会とJ A おきなわ八重山地区畜産振興センターは23日、J A 石垣牛の

ブランド管理強化に向けた講演会を八重山支店会議室で開いた。石垣牛購買者の集まり

コンパニオン常務執行役の植村光一郎氏が「生産者のこだわりや思いを消費者に伝える取り組みを」と呼びかけた。

同社は沖縄県産和牛に加え、昨年から石垣牛も取り扱っている。

植村氏は質疑で「昨年12月、石垣牛でエサを統一したと聞いて驚いた。全国でエサの統一しているところは3県くらい。消費者はエサに関心をもっており、エサの統一は素晴らしいこと」とたたえた。

講演で植村氏は「生産者のこだわりや思いが消費者に伝わっていない。伝わらないと、優位性が評価されず価

格に反映されない。今のまでの日本農業に欠けていることだ。消費者まで取り込んだブランド化を」と述べ、ブランド肉豚「TOKYO X」の事例を紹介した。

家族に食べさせたいという思いから統一した理念、統一したエサ、統一したおいしさの表現方法、統一した最善の飼育方法などを確立している点を挙げ、消費者をも取り込んだ「フードチェーン」の構築を促した。

フードチェーンについて植村氏は「消費者を取り込まないと大変なことになる」と指摘した上で▽これは、学習成果を公表することで農業と

11グループが成田八重農でクラブ

八重山農林高校(下地盛雄校長)の2010年度校内農業クラブ発表大会が23日、同校体育館で開かれ、1年生から3年生までの生徒たちがこれまでの活動成果を発表した。発表は、生産、加工、販売の3つの分野に分かれ、各グループが自分の作品を説明した。発表は、生産、加工、販売の3つの分野に分かれ、各グループが自分の作品を説明した。

自衛隊の先島配備

だ。

石垣三雄、長浜信 与党5人は「正式な

なエコ、